

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：甲状腺機能亢進症患者におけるアイソトープ治療後の経過に影響を与える因子の研究

1. 研究の対象

2012 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの間に当院でバセドウ病や自律性機能性甲状腺結節 (AFTN) による甲状腺機能亢進症に対してアイソトープ治療 (RI 治療) を受けた方

2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 7 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

バセドウ病や自律性機能性甲状腺結節 (AFTN) による甲状腺機能亢進症の治療として、日本を含む世界中で広くアイソトープ治療 (RI 治療) が用いられています。当院で RI 治療を受けた後の甲状腺ホルモンの推移や最終的に根治した割合などを評価し、RI 治療前の採血や甲状腺超音波のデータ、内服薬の状況などから、RI 治療後の経過を前もって予測できる因子がないか探索することを研究目的としています。

5. 研究方法

筑波大学附属病院の電子カルテ記録から研究対象となる患者さんのデータを収集し、解析を行います。本研究の実施によって新たに検査等を行うことはありません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：血液検査データ、超音波検査データ、内服歴、放射性ヨードの内用量、等

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反 (企業等との利害関係) について

本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

(記載例) 患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 内分泌代謝・糖尿病内科 担当 大崎芳典

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：TEL：029-853-3053、FAX：029-853-3174 (平日 9:00～17:00)

当院の研究責任者：筑波大学附属病院 内分泌代謝・糖尿病内科 講師 大崎芳典